

PULSE CONTROL

Wireless MIDI Controller

User Manual

For Firmware V1.0.3 - JP



HOTONE
DESIGN INSPIRATION

※In the interest of product improvement, the specifications and/or the content of products (including but not limited to appearances, packaging design, manual content, accessories, size, parameters and display screen), are subject to change without prior notice. Please check with local supplier for exact offers. Specifications and features (including but not limited to appearances, colors and size) may vary by model owing to environmental factors, and all images are illustrative.

目次

はじめに	1
安全について	2
使用上の注意	2
正しくお使いいただくために	2
カスタマーサポート	6
パネル	7
アプリ接続	9
接続シナリオ	10
編集ページ	13
モード	14
シンプルモードの使い方	14
プロモードの使い方	16
コントロール対象への接続	19
設定ページ	20
EXPペダルのキャリブレーション	22
スペシフィケーション	23

» はじめに

この度は Hotone 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
Pulze Control を最大限に活用するために、本マニュアルをよくお読みください。
マニュアルは後で参照できるよう大切に保管してください。

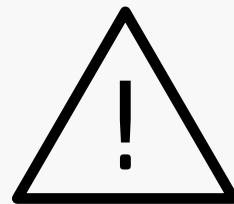
» 安全について

使用上の注意

デバイスを操作する前に、本マニュアルをよくお読みください。

以下に挙げる基本的な注意事項を必ずお守りください。

これらの安全上の注意には次のものが含まれますが、これらに限定されません。



正しくお使いいただくために

電源と電源コード

デバイスまたはデバイスの電源アダプターの電圧仕様が電源ネットワークと一致していることを確認してください。必ず付属のUSBケーブルなど、適切な電源が供給された状態でデバイスを使用してください。

サードパーティのチャージ用電源アダプターを使用する場合は、電源アダプターがデバイスの電力要件に適合していることを確認してください。指定以外のアダプターを使用すると、ユニットの損傷や誤動作の原因となり、極性を間違えると火災の危険が生じるなど、安全上の危険が生じる可能性があります。

Hotoneは、あなたや他人への身体的傷害、またはデバイスやその他の財産への損害については責任を負いません。アダプターをコンセントから抜くときは、必ずコネクター自体を持って抜いてください。コードを引っ張ると本体が破損する恐れがあります。電源アダプターは必ず分離して安全な場所に保管してください。長期間使用しない場合や雷雨の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。必ず保護接地された適切なコンセントに接続してください。

開放厳禁

本機にはユーザーが修理できる部品は含まれておりません。本機を開けたり、内部部品を分解したり、何らかの改造を絶対に試みたりしないでください。ケースを開けると、危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。本機のケースを開けたり、自分で修理を実行すると、このデバイスの保証資格が失われます。万一、故障と思われる場合は、ただちに使用を中止し、弊社サービスチームまでご連絡ください。

液体注意

デバイスを雨にさらしたり、水の近くや湿った状態または濡れた状態で使用したり、開口部にこぼれる可能性のある液体の入った容器（花瓶、ボトル、グラスなど）をデバイスの上に置かないでください。本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。危険です！

火気注意

火災の危険があるため、燃えている物や火気の近くに置かないでください。

強電磁場に関する注意

強電磁場内で本機を動作させないでください。ノイズや機器の誤動作、さらにはデータの消失などの原因となります。

ヒアリングダメージ

すべての音量レベルを最大に設定しないでください。特にヘッドフォンを使用する場合はご注意ください。接続機器の状態によってはハウリングが発生し、難聴の原因やスピーカーやヘッドホンが破損する場合があります。他の機器に接続する前に、すべての機器の電源を切ってください。また、すべての機器の電源をオンまたはオフにする前に、すべての音量が最小になっていることを確認してください。難聴、感電、またはデバイスの損傷を引き起こす可能性があります。

使用場所

使用時はお子様から遠ざけるか、大人の方が付き添ってください。梱包材等は窒息の危険を引き起こす可能性があります。(小さな部品、プラスチックカバー、その他の梱包材の飲み込み)。

使用中は、デバイスを布で覆ったり、デバイスのジャックをふさがないでください。長時間使用すると、本機と電源が温かくなります。

故障の原因となりますので、以下のような環境でのご使用は避けてください。

- 極端に暑い場所や寒い場所
- 砂やほこりの多い場所
- 腐食性ガスや塩気との接触
- 振動の激しい場所

本機を移動する場合は、接続されているすべてのケーブルと電源アダプターを必ず取り外してください。設置面の材質や温度によっては、ゴム足が変色したり、表面が傷つく場合があります。

メンテナンス

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

パネルが汚れた場合は、必要に応じて布を少し湿らせてから、柔らかい布で拭いてください。クレンザー、ワックス、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

お取り扱いの注意

ノブ、スイッチ、ジャックなどの操作部に過度な負荷を加えないでください。

故障の原因となる場合がありますので、画面や筐体に過度な力を加えないでください。

また、強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

装置内に異物（液体または固体）を入れないでください。

故障

次のような異常が発生した場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- デバイスが落下または破損した場合。
- 電源コードやプラグが擦り切れたり、傷ついた場合。
- 電源アダプターの故障。
- 異常な臭いや煙が出る。
- 何かをデバイス内に落とした。
- デバイスの使用中に突然音が出なくなった。
- デバイスに亀裂またはその他の目に見える損傷がある。
- デバイスにその他の明らかな故障の兆候がある。(例: 電源が入らない、ノブが機能しない、音量が低すぎるなど)

これらの場合は弊社のカスタマーサポートにご連絡ください。

廃棄について

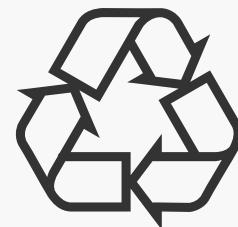
この製品を廃棄する場合は、適切な処理を受けるため各國・地域の法律に従い、指定の回収場所にお持ち込み下さい。

梱包材の廃棄

輸送および保護梱包には、リサイクルできる環境に優しい素材が使われています。

ビニール袋や梱包材などは地域のルールに従い、適切に処分してください。

こうした資材は通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄せず、必ずリサイクル回収してください。



デバイスの廃棄



製品、パッケージや添付書類に表示されているこの記号は、使用済みの電気および電子製品を一般家庭廃棄物と混合して廃棄してはならないことを意味します。

これらの製品を正しく廃棄することで、貴重な資源を節約し、不適切な廃棄物の取り扱いによって生じる可能性のある人の健康や環境への潜在的な悪影響を防ぐことができます。

古い製品の回収とリサイクルの詳細については、地方自治体、廃棄物処理業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

この製品は、隨時改正される欧州電気電子機器廃棄物指令（WEEE 指令 - 電気電子機器廃棄物）の対象となります。



電池の廃棄

バッテリーは廃棄または焼却せず、地域の有害廃棄物処理のルールに従って処分してください。

サービス連絡先

機種名、製造番号、具体的な故障症状、お名前、ご住所、電話番号などをご用意ください。お買い上げの販売店または Hotone サポートまでご連絡ください。マニュアルに従って本装置をご使用ください。それ以外の使用、および他の動作条件での使用は不適切な使用とみなされます。Hotone は、デバイスの不適切な使用または改造によって生じた損害については責任を負いません。

カスタマーサポート

この度は、HOTONE 製品をご購入頂き、誠に有り難うございます。

本機の性能を十分発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、必ず使用前にこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は大切に保管されることをお勧めします。修理が必要な場合はご購入先もしくは、弊社へご依頼ください。

製品改良のため、製品の仕様や内容（外観、パッケージデザイン、マニュアル、付属品、サイズ、パラメーター、表示画面等）は予告なく変更する場合があります。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

- 異常があるときは、電源プラグまたは電源アダプターをコンセントから抜いて、ご購入先までご連絡ください。特に、異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないでください。ご自身での調整や修理は危険です。まず、ご購入先までご依頼ください。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けてください。

▲警告：次のような場所での使用は避けてください。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

電源ソース

付属の専用電源アダプターを使用してください。100V 電源が正常に出力されているコンセントに接続して使用してください。また、長期に渡り本機を使用しない場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いて保管してください。

取り扱いについて

- 乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないでください。
- 記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合が考えられます。必ず取扱説明書に基づいた使用方法でお楽しみください。

修理が必要な場合

ご購入先もしくは、弊社へご依頼ください。

HOTONE 日本総代理店 株式会社HotoneJapan

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

品質保証に関して

本機は、HOTONE 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後 1 年以内の品質保証を行ってあります。ただし、以下に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象にはなりません。

- 修理の際は、購入者や購入日が証明できる明細（購入者が確認できる日付入りの購入明細、領収書等）をご提示いただけない場合。（ご購入後は、販売レシート等を大切に保管してください。）
- 非正規販売店や海外から購入された製品。中古品または譲渡された製品。
- 取扱説明書に記載されていない使用方法や使用条件による破損や修理。

注 1：最初の購入者に限り、（保証期間内に限り）無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。

また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

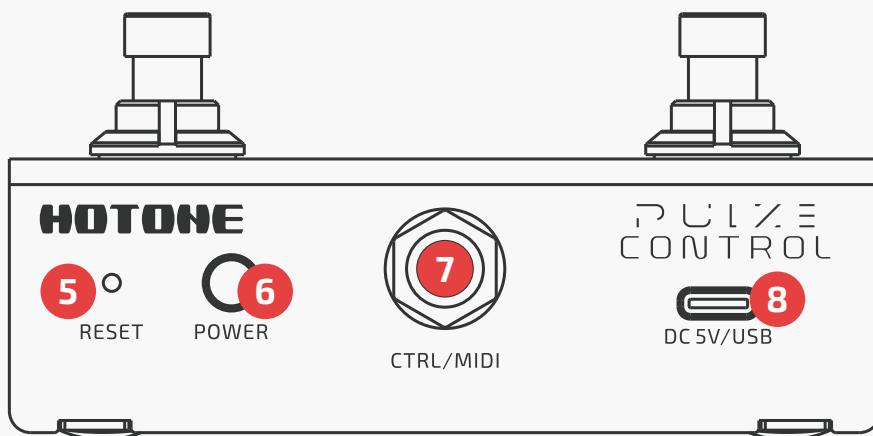
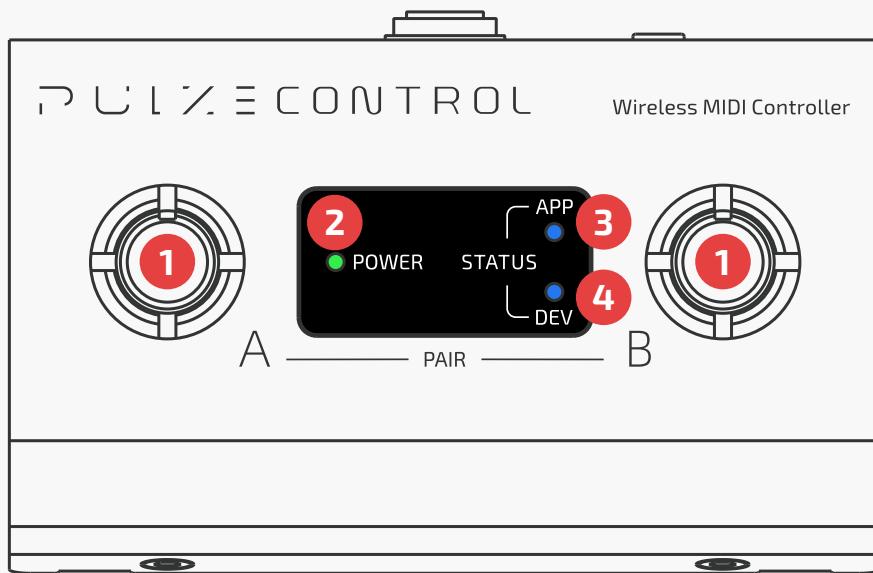
注 2：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。

弊社では、「内容を理解することを目的とする使用方法のみ」を許諾しております。

注 3：株式会社HotoneJapanは、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。

保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、弊社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。

» パネル



1. 割り当て可能なフットスイッチ：MIDI メッセージの送信、ワイヤレスペアリングなどに使用します。両フットスイッチを長押しすると、ワイヤレスペアリングモードがオン / オフできます（デフォルトはオン）。

電源を入れると、ユニットは自動的にワイヤレスペアリングモードがオンになります。一定時間後に接続がない場合、ユニットは自動的にワイヤレスペアリングモードをオフにします。この場合、両フットスイッチを押したままにすると、ワイヤレスペアリングモードが再度オンになります。

注意：ユニットがアプリに接続されている場合、ワイヤレスペアリングモードをオフにすることはできません。

2. 電源インジケーター：現在の電源状態を示します。

- グリーン – 電源 OK
- レッド – 低電力
- オレンジ – 充電中

3. アプリ接続インジケーター：アプリの接続状態を表示します。・ブルーの点滅 - 接続待ち

- ・ブルーの点灯 - 接続済み
- ・Off - ワイヤレスペアリングモードがオフ

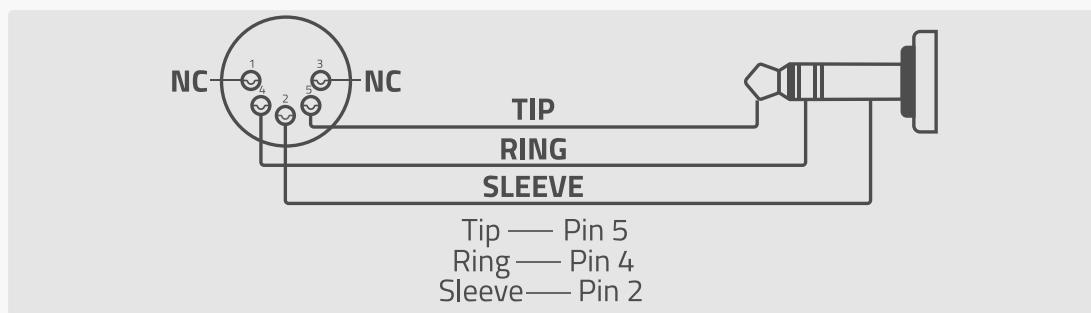
4. デバイス接続インジケーター：Pulse Control と他のデバイス間の接続を示します：

- ・ブルーの点滅 - 利用可能なデバイスを検索中・ブルーの点灯 - 接続済み
- ・Off - 接続なし

5. リセットボタン：SIM カード用の針または同様のツールによってトリガーする強制電源オフスイッチ。

6. 電源スイッチ：押し続けると、ユニットのオン / オフが切り替わります。

7. CTRL/MIDI：エクスプレッションペダル / モーメンタリーフットスイッチを接続するか、MIDI 出力ジャックとして使用するための 1/4 インチ (6.35 mm) TRS ジャックです。5 ピン MIDI ジャックを備えたデバイスで使用する場合は、以下の図で示すコンバーターケーブルが必要です。

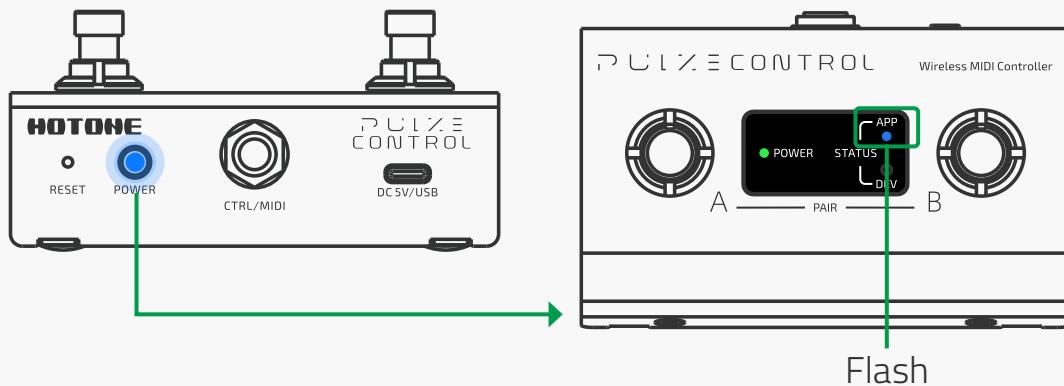


8. USB-C ジャック：充電または MIDI メッセージの送信用。

注意：ユニットは、有線と無線の両方で同じ MIDI メッセージを送信します。

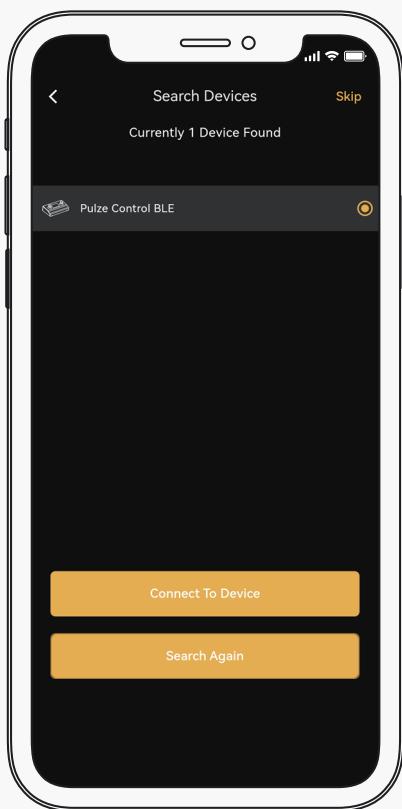
» アプリ接続

- POWER を押したままにして、ユニットをオンにします。APP インジケーターが点滅し、接続待ちであることを示します。



- Pulze Control アプリを起動します。

- Pulze Control がデバイスリスト ページに表示されたら（アプリは近くにあるすべてのデバイスを自動的にスキャンします）、画面上の [Connect To The Selected Device/ 選択したデバイスに接続] ボタンを選択してタップします。



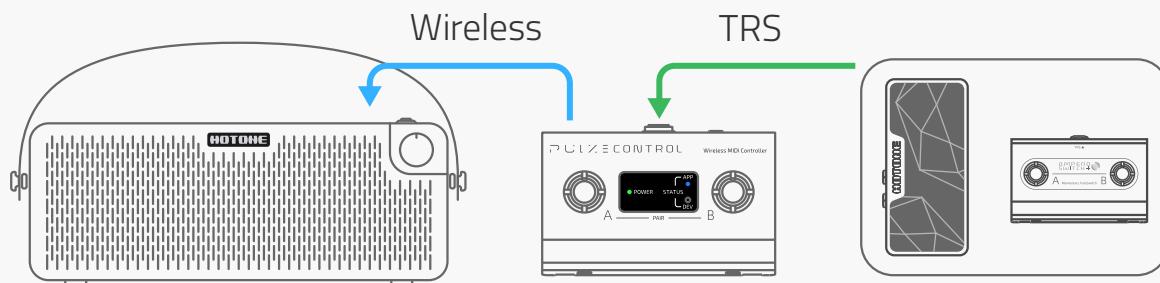
注意：

- デバイスが見つからない場合、アプリはオフライン モードになります。
- Pulze Control は一度に 1 つのデバイスでのみ編集できます。他のデバイスを使用するには、画面の右下にある [Settings/ 設定] アイコンをタップし、[Connection Status/ 接続ステータス] を見つけて入力し、[Disconnect/ 切断] をタップします。
- デフォルトのデバイス名は Pulze Control です。必要に応じて名前を変更できます。
- 接続の問題が発生した場合は、アプリの指示に従ってください。

» 接続シナリオ

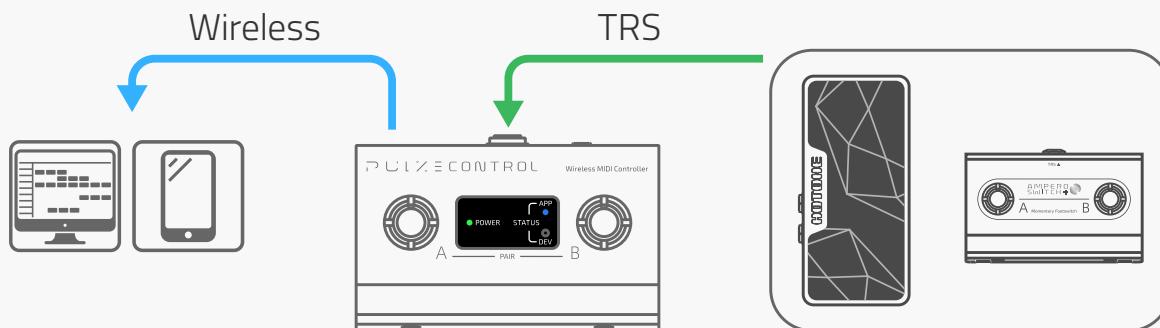
ユニットの推奨される使用方法は次のとおりです。

ワイヤレス コントローラーとして使用して他の機器を制御する。



このシナリオでは、ユニットは Pulze アンプなどの特定のデバイスにワイヤレスで接続されます。エクスプレッション ペダルまたはモーメンタリー フットスイッチを CTRL/MIDI ジャックに接続すると、コントローラーを拡張できます。Pulze Control アプリを使用して、ワイヤレス制御を維持しながらユニットを設定できます。

コンピューターとワイヤレス コントローラーとして使用する

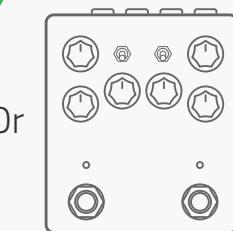


このシナリオでは、ユニットはコンピューターにワイヤレスで接続されます。エクスプレッション ペダルまたはモーメンタリー フットスイッチを CTRL/MIDI ジャックに接続し、コントローラーを拡張できます。このシナリオでの使用は、まず Pulze Control アプリを切り離す必要があります。

有線 MIDI コントローラーとして使用する (USB/TRS MIDI 経由)



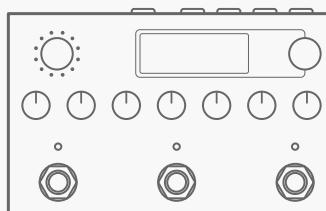
Or



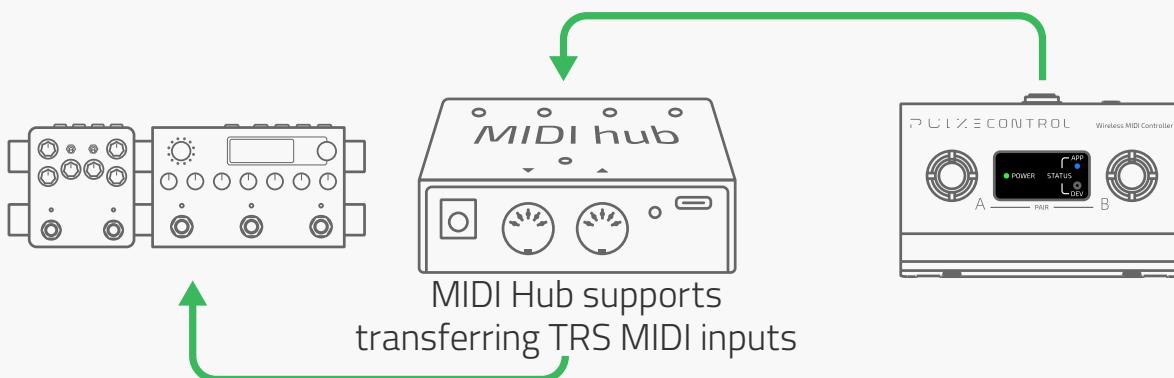
Devices supporting
TRS MIDI input



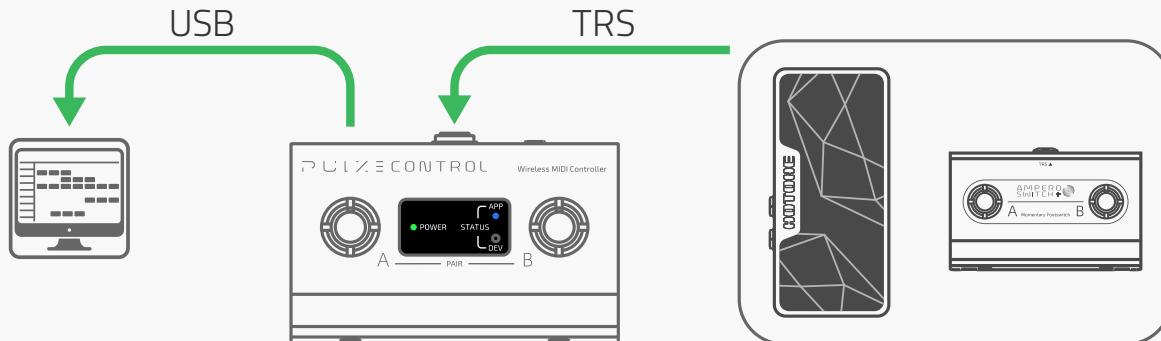
Or



Devices supporting
standard MIDI input only



MIDI Hub supports
transferring TRS MIDI inputs



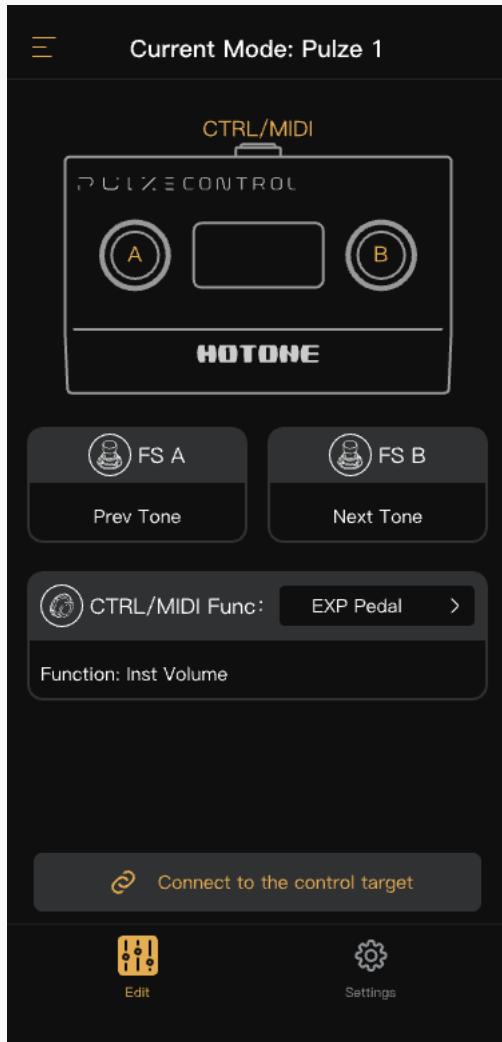
このシナリオでは、ユニットは USB ケーブルまたは TRS MIDI ケーブル (Ampero プロセッサーなど) でデバイスに接続できます。ユニットを拡張できるのは、USB 経由でコンピューターに接続している場合のみです。同時に、Pulze Control アプリでユニットを設定することもできます。

- デバイスが TRS MIDI 入力をサポートしている場合は、TRS MIDI ケーブルを使用してデバイスに接続します。接続前に TRS MIDI 接続の互換性を確認してください (CTRL/MIDI を参照)。
- デバイスが 5 ピン MIDI 入力のみをサポートしている場合は、TRS から 5 ピン MIDI への変換ケーブルを使用してデバイスに接続します。接続前に MIDI 変換ケーブルの互換性を確認してください (CTRL/MIDI を参照)。
- 複数のデバイス (複雑なペダルボードなど) を制御する場合は、TRS MIDI 入力の転送をサポートする MIDI ハブが必要になる場合があります。Pulze Control と他のデバイスを MIDI ハブに接続し、必要な転送内容を設定してください。
- ユニットを拡張できるのは、USB 経由でコンピューターに接続している場合のみです。

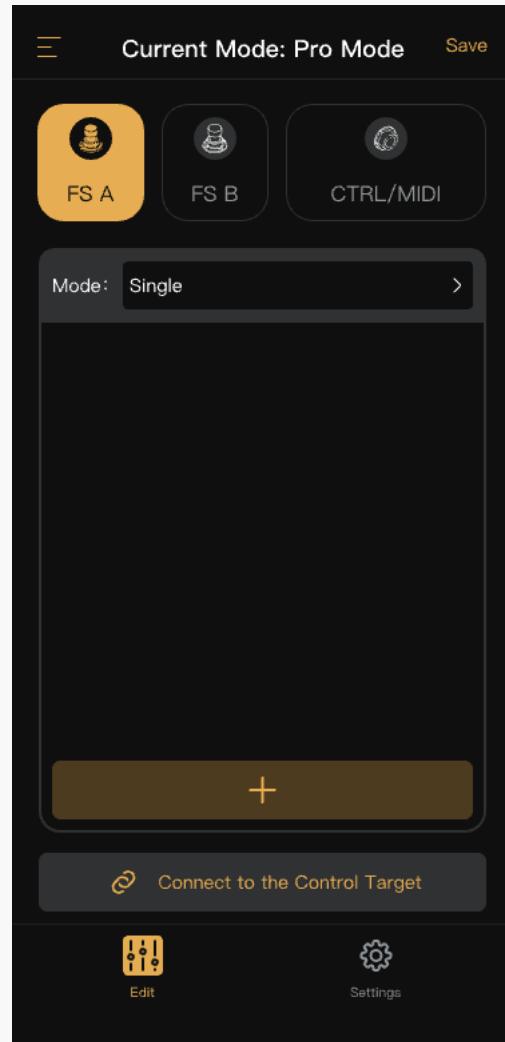
Pulze Control アプリを使用して、ユニットを同時に設定できます。

» 編集ページ

Pulze Control がアプリに接続されると、アプリは編集ページに入ります（現モードによって異なる場合があります）。

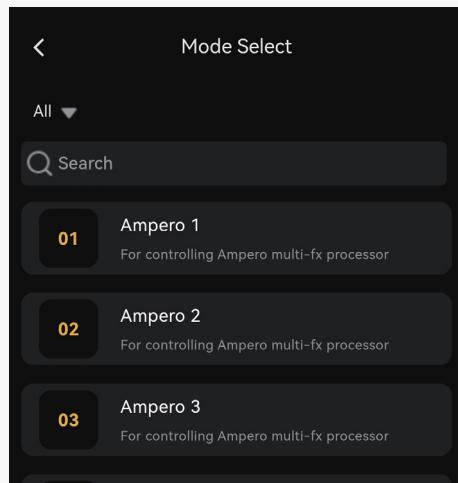


Simple Mode (excl. Pro Mode)



Pro Mode

» モード



Pulze Control は、さまざまなギアの複数のモードをサポートしています。

☰ ボタンをタップしてモードリストに入り、ロードするモードを選択します。

高度な設定が必要な場合には、プロモードを使用できます。

シンプルモードの使い方

手順は以下のとおりです。

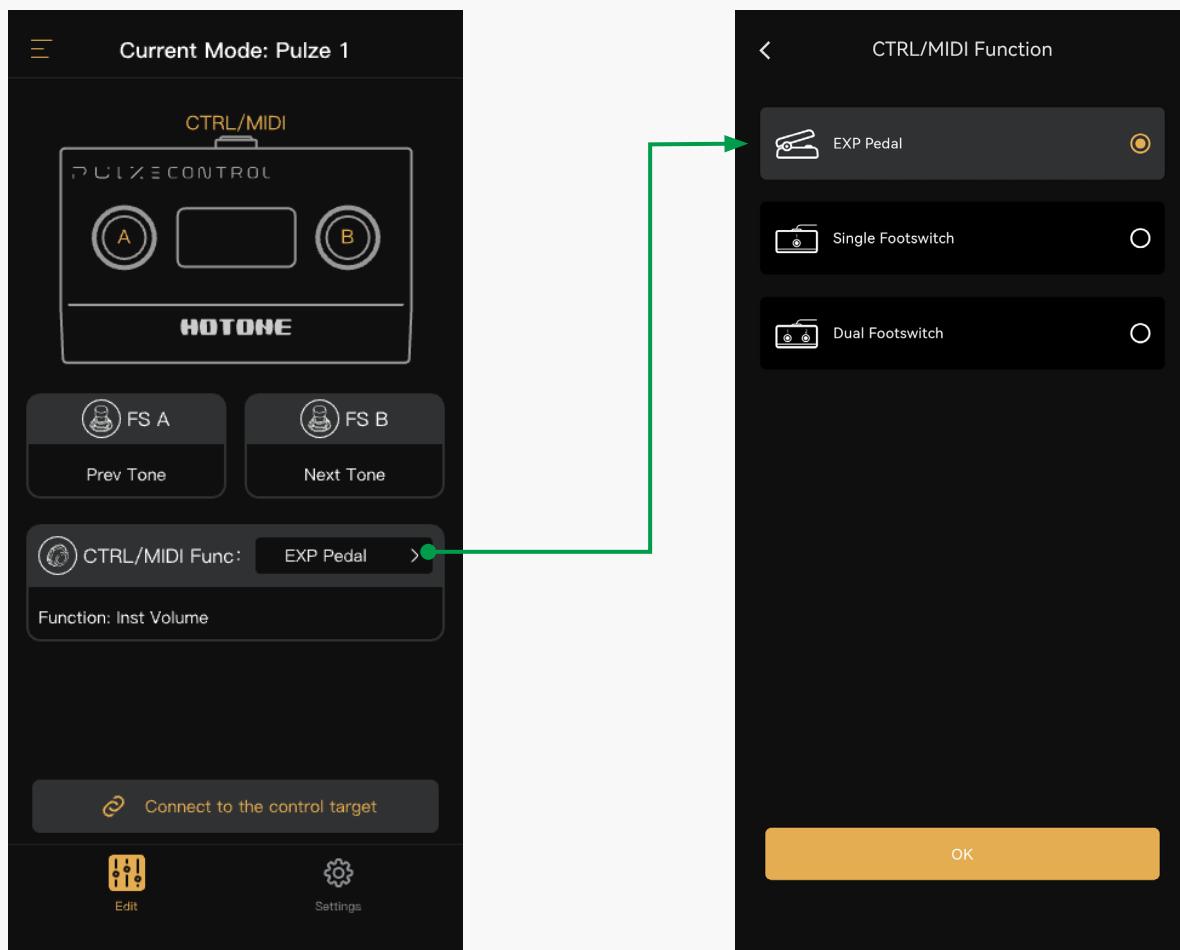


このボタンを押すと、Pulze Control は近くの利用可能なデバイスをスキャンし、必要なコントロールターゲットを選択して接続します。

シンプルモードでの CTRL/MIDI ジャックの設定

必要に応じて、外部コントローラー タイプを設定したり、CTRL/MIDI ジャックを MIDI 出力用として使用できます。エクスプレッションペダル / 外部フットスイッチの機能は、現モードによって異なり、編集はできません。

注意： 使用可能な CTRL/MIDI 機能の選択は現モードによって異なります。例えば、一部のモードでは MIDI 出力がサポートされていません。

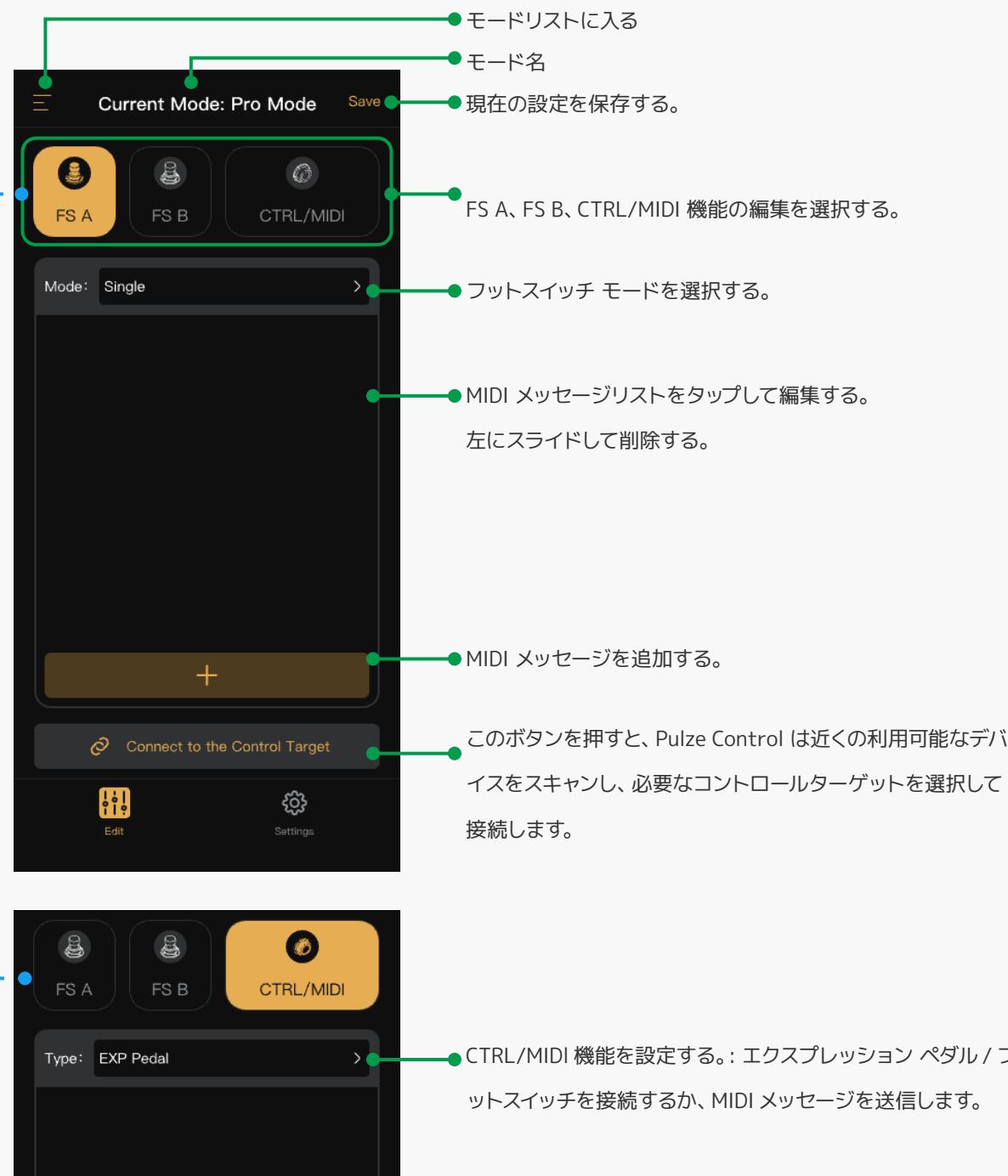


機能の説明は選択内容によって異なります。

Pulse モード 1 を例に挙げると、エクスプレッションペダルを接続すると、ペダルでインスト ボリュームを制御します。デュアル フットスイッチ コントローラーに接続すると、フットスイッチ A でドラム マシンのオン / オフを制御し、フットスイッチ B でドラムのタップ テンポ機能を制御します。

プロモードの使用方法

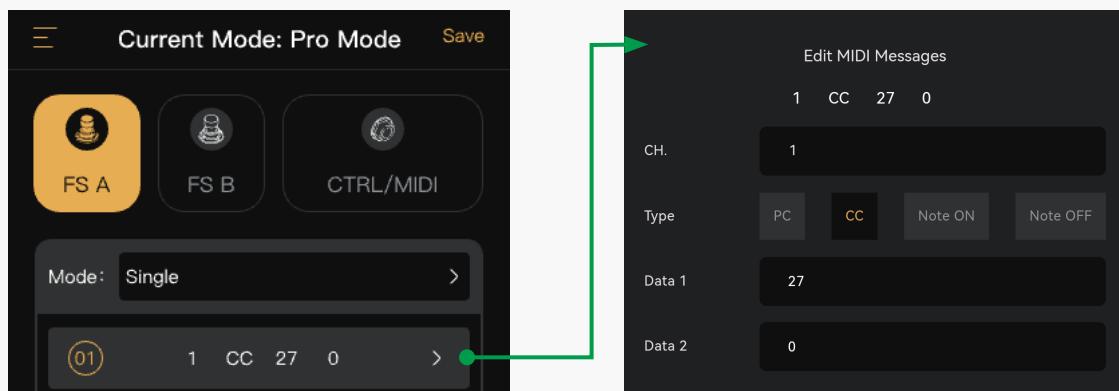
手順は以下のとおりです。



フットスイッチの設定

以下の手順に従ってください。

1. フットスイッチを選択します。
2. モードボタンをタップしてフットスイッチモードを選択します。Pulse Controlには4つのフットスイッチモードがあります。
 - Single/ シングル：フットスイッチを押すと、同じMIDIメッセージが送信されます。フットスイッチを放すと、MIDIメッセージが送信されます。
 - Toggle/ トグル：2つの異なる(A/B)グループのMIDIメッセージが設定できます。フットスイッチを繰り返し押すと、A/Bメッセージグループを切り替えてMIDIメッセージが送信されます。フットスイッチを放すと、MIDIメッセージが送信されます。
 - Momentary/ モーメンタリー：2つの異なる(A/B)グループMIDIメッセージが設定できます。フットスイッチを押すとグループAのMIDIメッセージが送信され、フットスイッチを放すとグループBのMIDIメッセージが送信されます。
 - Hold/ ホールド：フットスイッチをホールド（長押し）すると、1つのMIDIメッセージまたはメッセージのグループが一定の間隔で繰り返し送信されます。フットスイッチを1回押すと、グループの最初のMIDIメッセージを1回送信できます。その場合、フットスイッチを放すとMIDIメッセージが送信されます。
3. 画面の右下にあるボタン()をタップして、必要に応じて最大16個のMIDIメッセージが追加します。
4. MIDIメッセージボタンをタップしてメッセージの詳細を編集します。ユニットは、PC(プログラム変更)、CC(コントロール変更)、ノートオン、ノートオフの4つのMIDIメッセージタイプをサポートします。



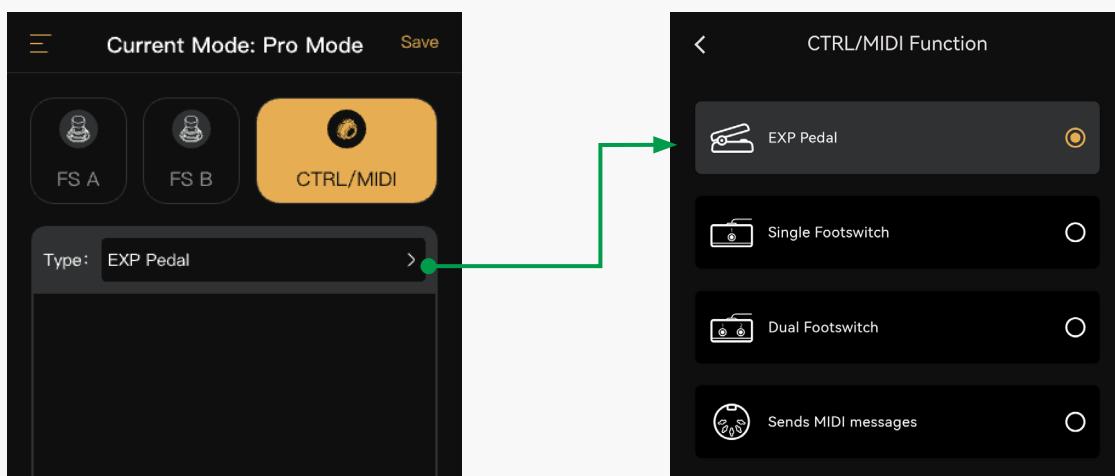
5. 必要なすべてのフットスイッチを編集したら、画面の右上隅にある[Save/保存]ボタンをタップして変更を保存することを忘れないでください。保存しないと、すべての変更が失われます。

プロモードでの CTRL/MIDI 機能の設定

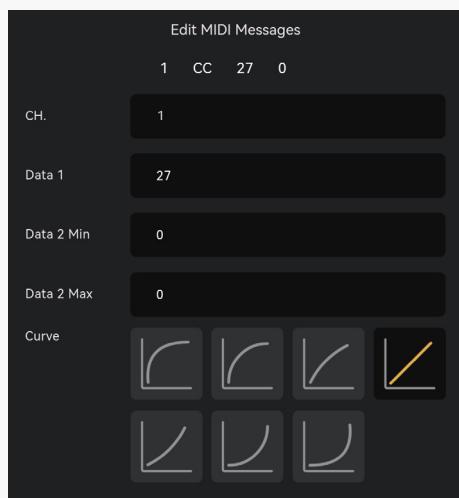
プロモードでは、外部コントローラーを CTRL/MIDI ジャックに接続すると、それらの MIDI メッセージを設定できます。シンプル モードと同様に、CTRL/MIDI ジャックを MIDI 出力として使用することもできます。

以下の手順に従ってください。

1. CTRL/MIDI タブを選択します(上記を参照)。
2. ニーズに応じて機能を選択します。



3. 外部コントローラーを接続する場合は、必要に応じて外部フットスイッチ コントローラーの MIDI メッセージを設定します。外部フットスイッチの場合、機能は内蔵フットスイッチと同じです。



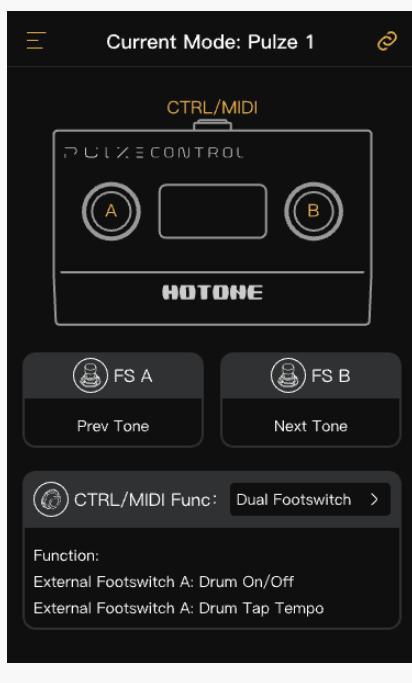
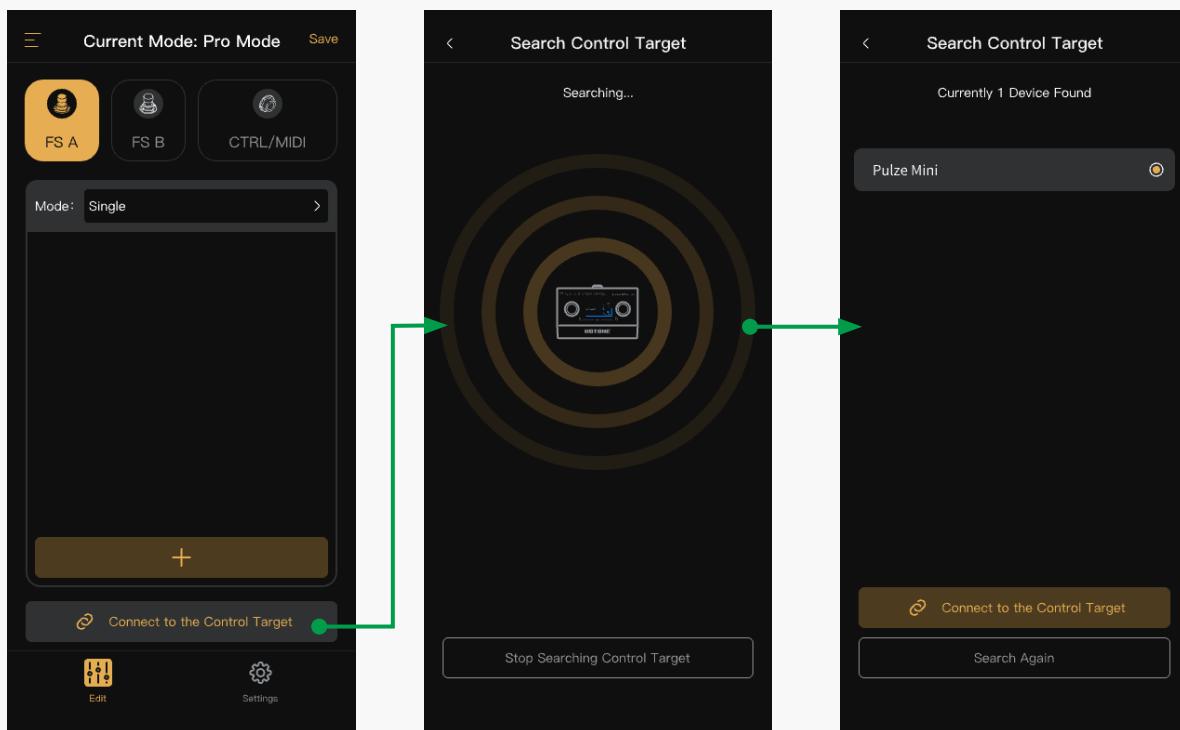
エクスプレッションペダルの場合、CC メッセージのみがサポートされ、MIDI メッセージの最大数は 4 です。Data 2 Min (完全にヒール側)/Data 2 Max (完全にトウ側) を使用して制御範囲を設定します。ほとんどの場合、min=0、max=127 に設定するだけです。Curve を使用してバリエーションカーブを設定します。デフォルトでは Line に設定されています。

編集後は、すべての設定を保存することを忘れないでください。

» コントロール対象への接続 (Pulze Control の Server Mode / サーバーモードを使用)

すべての設定が完了したら、ターゲットデバイスにワイヤレス接続する準備が整います。

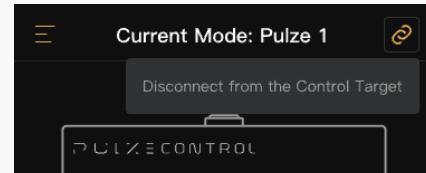
編集ページで「Connect to the Control Target / コントロールターゲットに接続」ボタンをタップします。



編集ページで「制御対象に接続 / 制御ターゲットに接続」ボタンをタップします。

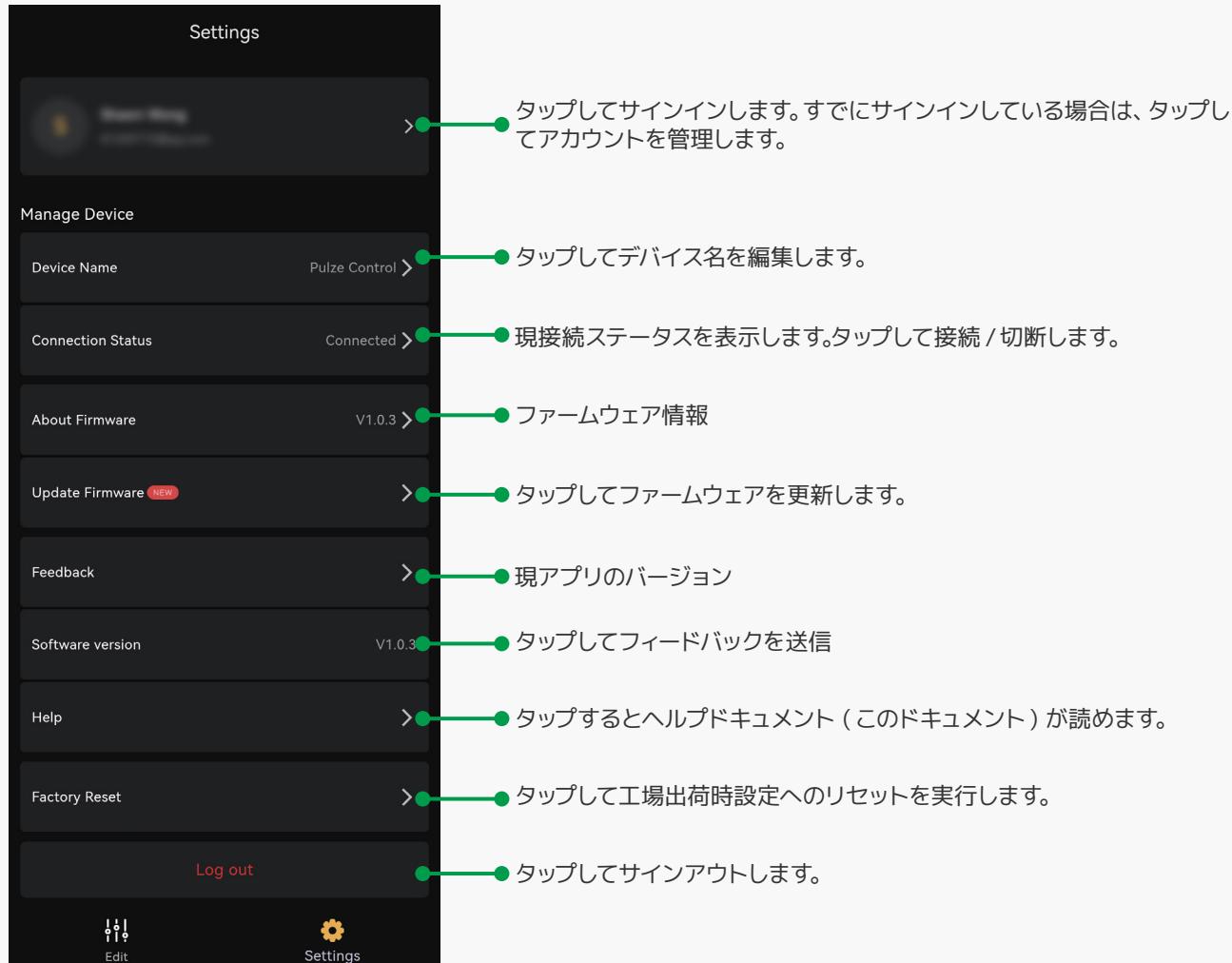
ユニットは近くにあるすべてのデバイスを自動的にスキャンします。対象デバイスがリストに表示されたら、画面上の「Connect To The Control Target/ コントロール対象に接続」ボタンを選択してタップします。その後、アプリは編集ページに戻ります。

画面右上の アイコンをタップし、「Disconnect from the Control Target/ コントロール対象から切断」を選択して切り離します。



» 設定ページ

このページは、グローバル設定、アカウント関連の設定、ファームウェアのアップデートの実行、および工場出荷時設定へのリセットを行うページです。

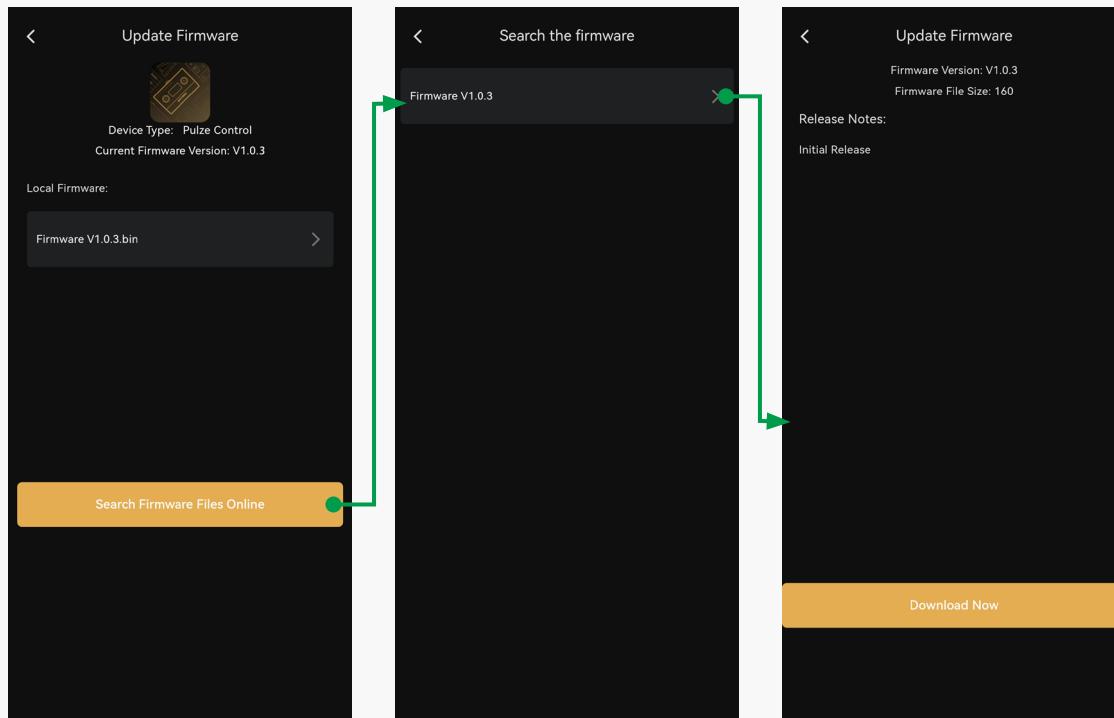


ファームウェアのアップデート

以下の指示に従ってください。

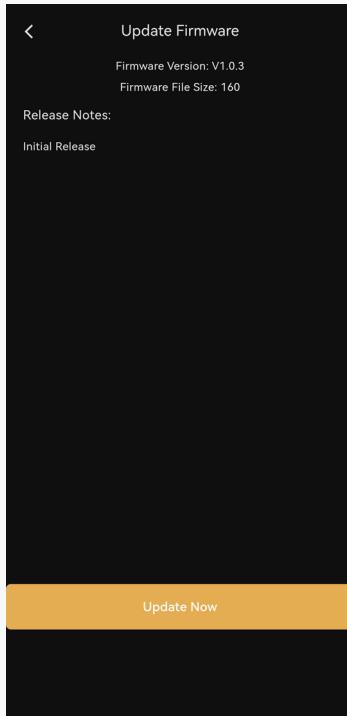
- 「Update Firmware/ ファームウェアのアップデート」をタップして、ファームウェア更新メニューに入ります。以前にファームウェアのファイルをダウンロードしたことがある場合は、そのファイルはローカルファームウェアリストに表示されます。
- 「Search Firmware Files Online/ ファームウェア ファイルをオンラインで検索」をタップして、オンラインのファームウェア ファイルを確認します。オンライン ファームウェア ファイルは以下のように表示されます（「Downloaded/ ダウンロード済み」とは、ファームウェア ファイルがすでにアプリにダウンロードされていることを意味します）。

3. ファームウェア ファイルをタップして、ファームウェアの詳細情報を表示します。「Download Now/ 今すぐダウンロード」をクリックしてファームウェアファイルをダウンロードします。



進行状況バーにダウンロードのステータスが表示されます。

4. 「Update Now/ 今すぐアップデート」ボタンをタップして、ファームウェアを更新します。



ローカルのファームウェア ファイル（ダウンロードされている場合）を使用してユニットを直接更新することもできます。ローカル ファームウェア ファイル（上記を参照）を選択し、「Update Now/ 今すぐアップデート」をタップして、選択したファームウェア ファイルでユニットを更新します。

アップデートには数秒かかる場合があります。完了したら、デバイスを手動で再起動して再接続します。

ご注意ください：

1. THE FIRMWARE UPDATE PAGE/ ファームウェア更新ページに留まり、更新の進行中は電源を切ったり接続を停止したりしないでください。アップデートに失敗すると、故障の原因になる可能性があります。
2. アップデートの進行中は、データ信号の干渉を避けるため、Pulze Control とスマートデバイスを互いに 1 メートル以内に置いてください。

工場出荷時設定へのリセット

「Factory Reset/ ファクトリーリセット」をタップするとファクトリーリセットが実行されます。

このプロセスには数秒かかります。

警告：このリセットにより、すべてのユーザー データが消去されます。

» EXP ペダルのキャリブレーション

キャリブレーション機能は、エクスプレッションペダルのコントロールに必要です。ペダルが機能しない場合、または MIDI メッセージの送信中にスイープの変化が非常に少ない、または多すぎる場合は、エクスプレッションペダルの調整が重要です。

以下の指示に従ってください。

1. エクスプレッションペダルを Pulze Control の CTRL/MIDI ジャックに接続します。
2. フットスイッチ B を押しながらユニットの電源を入れます。POWER LED がグリーンに点滅し、ユニットがエクスプレッションペダル キャリブレーションモードに入ったことを認識して表示します。
3. 調整する必要があるペダルを完全に上げて踏み込みます。これを 4 回以上行います。ユニットは自動的にペダルを一致させます。
4. 上記の操作が完了したら、もう一度フットスイッチ B を押してキャリブレーション結果を保存し、通常の電源投入を行います。

» スペシフィケーション

電源：内蔵バッテリー。USB充電が可能

バッテリー動作時間：最長12時間

動作レンジ：最大7.5メートル

最大EXPペダルのポットインピーダンス：25kΩ

外形寸法：102mm(W)×63.5mm(D)×47mm(H)

重量：215g